

施策：	01	子育て支援の推進	財務コード	01030201-03-218
基本事業：	06	保護者負担の軽減	担当部	こども部
基本事業の成果指標	子育てに関する経済的不安がある保護者の割合		担当課	こども政策課
			担当係	給付・支援担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市母子寡婦福祉会			ひとり親家庭及び寡婦の自立の促進及び福祉の増進を図ることを目的として、交流会等の活動を行う市母子寡婦福祉会に補助金を交付する。 <補助金交付の流れ> 補助金交付申請 補助金交付決定通知 補助金概算払請求 補助金交付 実績報告 <市母子寡婦福祉会の活動内容> ・総会（年1回開催） ・母子寡婦交流会（年2回開催） ・カミィリヤ祭りにてひとり親相談会を開催 ・ひとり親家庭（小、中学生）への学習支援（週1回） R7再開 場所：生涯学習センター 学習室3 時間：18時～20時（毎週金曜日） 内容：ボランティアによる学習支援、進学相談（無料） <根拠法令>なし						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
ひとり親家庭及び寡婦の助け合いや交流が行われ、生活の向上、孤立化の予防が来ている。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標
			実績	実績	当初	要求	計画	計画	
会員数		人	74	73	80	80			80
5. コスト									
事業費		計	千円	135	135	135	135		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般		千円	135	135	135	135			
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.4				
正職員人件費		千円	782	802	3,352				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	917	937	3,487	135			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		状況 会員数はR5から1名減となっている。							
どちらかといえばあがっている		原因 新規8名、退会9名。退会の理由としては、年3回の総会等の案内が返戻となり連絡が取れない等の理由が多数である。							
あがっていない（停滞・低下）		その他 R5より交流会等の活動を再開し会員の交流及び情報交換の場を設けることで、福祉の増進と自立促進の一助となっている。今後も会員確保及び自立促進に向けた活動について団体に促していく。 また、コロナ禍以降、休止していたひとり親家庭の学習支援事業について、再開に向けて団体と協議を行いR7からの再開に至った。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性			維持		見直し		廃止		事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
母子及び父子並びに寡婦福祉法の改正により、母子家庭等の自立促進のための総合的な施策の推進が求められている。			備考・特記事項 or 進行管理欄						
			筑紫野市補助金交付規則に基づき、補助金を交付している。						